

■新井奥遂 仙台藩士として戊辰戦争で徹底抗戦、渡米し34年、キリスト者として帰国、独自の国づくりを訴えた。

あらいおうすい

孝明天皇・・・1846＝ 仙台の本樽町で、反物扱う老舗(伊藤家)当主新井三郎左衛門の次男に生まれる。

ペリー来航・1853＝ 7歳：

安政大地震・1855＝ 9歳：

桜田門外変・1860＝14歳：

遣欧使節・・・1861＝15歳：12年上で藩校(養賢堂)の助教だった兄が死去。

藩校(養賢堂)で、大槻盤溪らに学んだ後、

禁門の変・・・1864＝18歳：

薩長同盟・・・1866＝20歳：藩の選抜学生として昌平坂学問所に入学するが、まもなく安井息軒の(三計塾)に移る。

明治維新・・・1868＝22歳：鳥羽伏見の戦いが始まると、薩長と戦うべく、急遽帰藩し、同志と連名で藩主に建白書を提出。

戊辰戦争終・・・1869＝23歳：玉虫左太夫がまとめた会津帰順交渉が新政府に拒否されると、徹底抗戦すべく奥羽列藩同盟結成となり、左太夫の下で活動するも、仙台藩が降伏したため、金成善左衛門らと語らって、榎本武揚の幕府軍に合流、箱館戦争に参加、そこで金成の友人で土佐藩を脱藩し流浪後ロシア正教に改宗していた沢辺琢磨を通じて、ロシア領事館付き司祭ニコライと出会い、国家の将来への尽力を示唆され、義兵を募るべく仙台藩に潜行して最後まで戦った後、新政府のお尋ね者となりながら、

初の日刊新聞1870＝24歳：\*再び函館に上陸、帰国中のニコライの代わりに、琢磨からキリスト教の手ほどきを受けた後、金成に紹介された森有礼の勧めで自訴し、朝敵処分を免れたばかりでなく、初代米国駐在少弁務使となる森有礼に私費援助を受け、随行して、渡米、T. L. ハリスが主宰する労働と修道の組織(新生社)に入る。

明治6年政変 1873＝27歳：

初の民間工場1875＝29歳：ハリスに従い、長沢鼎らとともに、買い取ったカリフォルニアの未開墾地に移る。

この間、社会主義詩人マーカムと親友になり、

明治14年政変1881＝35歳：

新体詩抄・・・1882＝36歳：

“キリストの志願奴隷”とする修行の道を選択、

初の対等条約1888＝42歳：この年から、「Inward Prayer and Fragments(内観録)」の編集を始め、

帝国憲法発布1889＝43歳：

大津事件・・・1891＝45歳：

日清戦争始・1894＝48歳：

白馬会・・・1896＝50歳：\*「内観録」2巻を完成。

Bushidou・・・1899＝53歳：\*アメリカでの労働と修道の生活を突如打ち切り、何も持たずに、飄然と帰国。

ピアノ国産化・1900＝54歳：

田中正造直訴1901＝55歳：天皇への直訴を決行した田中正造のことを知ると、

教科書疑獄・1902＝56歳：(政教社)の機関紙(日本人)に「過を觀て其仁を知る」を投稿、憲政論を展開し、政府を激しく弾劾。以後、正造の指導役になる。

日露戦争終・1905＝59歳：

伊藤博文暗殺1909＝63歳：

韓国併合・・・1910＝64歳：同志の木下尚江に手紙し、'仙人になれば'と心境を語る。

明治天皇没・1912＝66歳：

本格政党内閣1918＝72歳：

\*生涯、"キリストの志願奴隷"に徹して、

原敬首相暗殺1921＝75歳：

水平社結成・1922＝76歳：\_没した。

「人づくり風土記(宮城)」、